

子どもをもち、子育てをしていると悩んだり、考えたりすることがたくさんあります。子どもが生まれたばかりは、健康に明るく育ってほしいとだけ思っている、やがて大きくなり、思春期を迎える頃には、子どもが成長する喜びもたくさんありますが、一方で悩みは大きくなっていくこともあります。

以前、ある話し合いの場で、中学校の先生に、「中学校で、学校生活をよりスムーズに送るためには、小学生までに親としてどんなことに気をつけたらいいですか。」と、伺ったことがあります。その先生は、

「何かを頑張ったときには心から褒め、いけないことや人に迷惑をかけてしまったときは、叱ってあげてください。当たり前のように、教えてあげてください。そうすれば、横道にそれたとしても、必ず元に戻ることができません。逆に、そのような経験がないと、横道にそれたら元に戻ることができなくなってしまうと思います。」とおっしゃいました。もう十年以上前のことですが、今でも心に残っている言葉です。

「三つ子の魂百までも」ということわざがあります。幼いときに良いこと・悪いことをしっかりと教え、論じてあげることが、人格を形成するう

えでとても必要なことです。子どもは成長とともに、時には反抗したり、身勝手なことを言ったりします。そんなとき、親は「何でこうなってしまったのかな。」と思い悩むことが多々あります。

しかし、子どももその態度とは裏腹に、親やまわりの人が、自分に対し愛情を持って育ててくれたことを感じていたものです。良いことも悪いことも含め、親の行動を見て成長しています。言い換えれば、まわりの大人を手本にして、大きくなっているともいえます。

子育てに近道はないと思います。親をはじめまわりの大人が一生懸命生きている姿を示すことが、大切なことだと感じます。親だっ人間ですから、堅苦しいことはできません。しかし、「何気ない日常のあいさつをする」、「言葉遣いに気をつける」、「何かをしてもらったら感謝の気持ちを伝える」など子どもに望むことを、まずはしてみるのもいいかもしれません。

親も子どもと一緒に、成長していく姿勢を持っていききたいものです。子どもを育ててみて、自分も育てられていることを感じます。「親も子も、共に育つ」・・・心にとめておきたいです。

## 連載・青少年健全育成シリーズ 第297回

### 「共に育つ」

青少年の声かけあいさつ運動の推進  
『大人も子どももすすんであいさつをしよう』

毎月第1日曜日は「家庭の日」  
毎月第3日曜日は「青少年を育む日」です。  
青少年育成都留市市民会議編集委員

### 広報「つる」広告募集！

あなたのお店の広告を広報つるに載せてみませんか？  
広報「つる」は、都留市内の各家庭に配布されています  
(10,500部発行)ので、多くの方の目に触れます！

問合先：総務課 法制広報担当

#### 広告料金

掲載場所	印刷色	金額 / 枠	備考
裏面	カラー	20,570	2カ月掲載
内面	2色刷り	10,280	2カ月掲載

掲載月は、①1・2月②3・4月③5・6月④7・8月  
⑤9・10月⑥11・12月の6パターンとなります。  
掲載状況は、下記をご参考としてください。  
また、詳細につきましては、ぜひお問い合わせください。

広告掲載欄

広告掲載欄